

くまもと

389号

日本郵趣協会
熊本支部会報
2024.5

小型シート収集にアクセントを

内野 実

支部の皆さんの中にも記念切手を収集されている方多いと思います。

戦後の昭和20年代の小型シートは、郵政の増収対策で濫造・濫発されました。

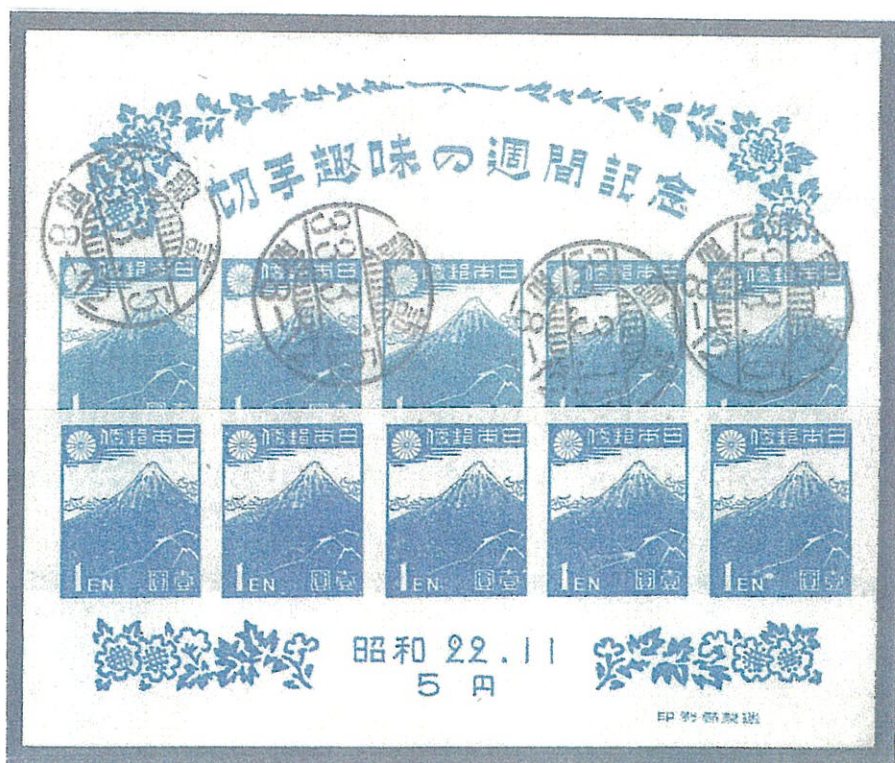
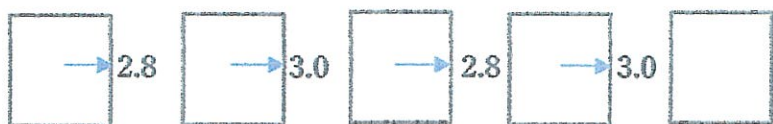
その中でも切手趣味週間小型シートは、2,876,400枚と当時の他の小型シート10数万枚と比較して相当数発行されており、白紙・灰白紙・粗紙と紙質もバラエティ豊富です。

またⅠ版とⅡ版に分類されることはご存知でしょうか。

Ⅰ版



Ⅱ版



いまでいえば、小型印で十分な小さなイベント開催に際して普通切手の図案を流用した安っぽい作り。また、戦後の物資のない時代に手の込んだ印刷の切手を発行できるすべもなく、結果として変種・エラー等が多発しました。

郵趣の特集記事や日専には多くの記載がありますが、価格も高くオークションなどで入手するというのが一般的ではないでしょうか。

資金とめぐり逢いがないと、おいそれとは入手できません。

そこで私の場合、少しだけランクの落ちる2級品とまでは言わないヒンジ跡や小さなシミありもコレクションに加えています。

「みほん」券もアクセントになりますね。

博多駅朝日新聞ビルの即売会などのイベント情報にも注視し、活用すれば安価で入手できることもありますので、是非ともお出掛けください。



8# 左目「涙」と10#印面左「抜け毛」の定常変種



10# 帽子 印面右に「白髭」の定常変種

